

超絶キュートな新型ラパン誕生・シャトル速攻試乗!!



ホンダスポーツ

暴かれた^秘ゾーン...全40台を網羅!

スクープ 手帳の中身 2015

2015
定価 360円



詳細判明!

NSXプチ

のプチじゃない実力

Cセグ最速スポーツついに始動だ!



ニッポンのスポーツカーと暮らしてみま専科

特集

特別企画

Honda 69年分のお仕事を振り返る



S660、BRZ、アルトターボRS、ロードスターに第3のコペンまで「持つ」シアワセを妄想してみた



助手席 NMB48

かなきちとスバルXVの相乗効果



ステップワゴン は勝てるか? ヴォクシー&セレナと比較 激戦を制するミニバンはどれ?

クルマ道楽未体験ゾーン「サバゲー」に行ってみた



激レアスポーツ ラディカルに乗る



ギャラン VR-4を今、買える幸福感



ミス日本「みどりの女神」とフィールダーで旅をする



平成27年7月1日発行 毎月1回1日発行 昭和46年9月1日創刊 株式会社朝日新聞出版 朝日新聞社 45号室

YOKOHAMA

ヨコハマ

ADVAN Racing RZII

アドバン・レーシング・アールゼット・ツー

構造	鍛造1ピース
サイズ	17×7.0J～19×10.0J
カラー	レーシング・ハイパー・ブラック&リング、レーシング・グロス・ブラック&リング、レーシング・インディゴ・ブルー&リング
価格	5万3460～7万6140円(税込)



カラー：レーシング・インディゴ・ブルー&リング

伝統のRZが7年ぶりに進化。シャープなツインスポークでアグレッシブな見た目を演出。

RZのイメージを変えずより細くシャープに変身

ADVANレーシングは横浜ゴムが展開するスポーツホイールだ。ツライチなどルックスを

満足させつつ、軽量かつ高剛性という性能をひたすら追い求めてきている。そのADVANレーシングの最新作がRZIIだ。

RZIIが目指すものは何か。横浜ゴムでホイール企画/デザイナーCMP(チーフ・マーケットイング・プランナー)を務める萩原修さんにかがった。

「ツイン5本スポークだったRZの7年ぶりの進化版です。一見10本スポークですが、じつ

り見ていただければツイン5本スポークと気付いていたかもしれません。さらに注目していた方がいいのがスポークの内側です。U字型の狭角側は段付きと、異なるサイドカットを施しています。正面から見ればスポークの細さにも驚かされるはずです。さらにダブルフランジの外周側をダイヤカットして、ホイールの存在感を際立たせています」

このスポークを引き立たせているのが弧を描くコンケイブ形状にある。17と19インチにはスタンダードとより深いコンケイブ形状となるGTRデザイン2タイプ。走りの18インチには、

さらにアグレッシブなスーパーGTRデザインも加えた3タイプを用意しているのだ。「カラーにもこだわりました。ハイパー・ブラック、グロス・ブラックという定番色に加え、個性的なインディゴ・ブルーを揃えました。インディゴ・ブルーはクルマを選ぶかもしれないませんが、色が少ない昨今だけに目立つこと間違いなしです」

ここでスクープ。なんと目下、15と16インチを開発中とか。S660をはじめ、コンパクトカーに狙いを定めたものだというから大いに期待したい。スポーツに特化したADVANレーシングはさらなる展開を目論む。



レーシング・ハイパー・ブラック&リング

レーシング・グロス・ブラック&リング

▼WRX STIにカラーがレーシング・ハイパー・ブラック&リングのADVAN Racing RZII (19×9.0J 5H-114.3+45)を装着。スポーツカーの精悍さを強調できるだけでなく、サーキットをアグレッシブに攻めるイメージを醸し出す

SUBARU WRX STI × ADVAN Racing RZII



▶「トレンドを追い求めすぎず、ADVANブランドのスポーツイメージを継承しながらも大胆に進化させました。現在、RZIIの15、16インチ用も企画中ですので期待して下さい!」と語るのは、横浜ゴムでホイール企画・デザイナーを担当する萩原修氏

